8 記録データの出力

記録したデータの確認と出力をおこないます。

出力したデータファイルが、Windows のエクスプローラーで表示されない場合は

以下の操作をお試しください。

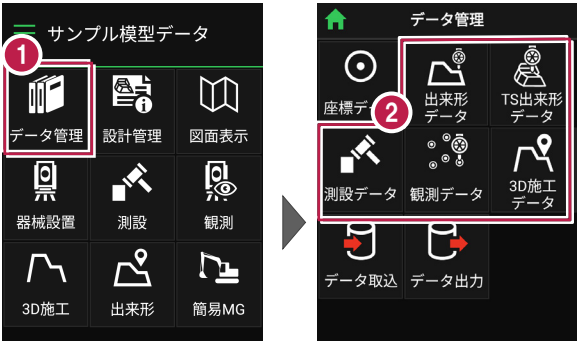
- エクスプローラーで「最新の情報に更新」をおこなう。（F5キー押下）
- USBケーブルを一旦抜いて差し直す。
- 端末（スマートフォン）を再起動する。

8-1 記録したデータを確認する

測設・観測・3D施工・出来形計測などで記録したデータ（座標）を確認します。

1. ホーム画面の［データ管理］をタップします。

2. ［測設データ］
［観測データ］
［3D施工データ］
［出来形データ］
［TS出来形データ］
の各ボタンをタップして、記録したデータを確認します。



例）

［測設データ］



［観測データ］

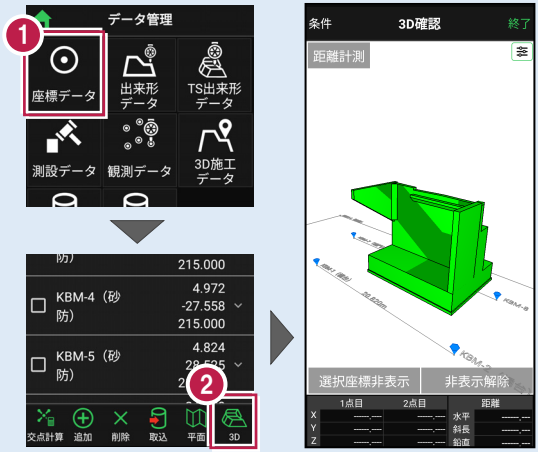


［3D施工データ］



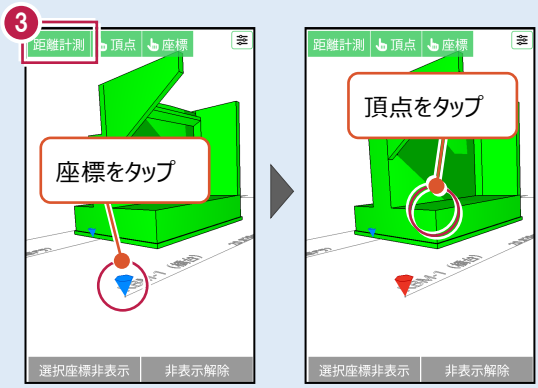
TIN の頂点と計測した座標の距離を確認する場合は

［データ管理］－
［座標データ］の［3D］をタップします。



［距離計測］をタップして、計測する2点（頂点または座標）を選択します。

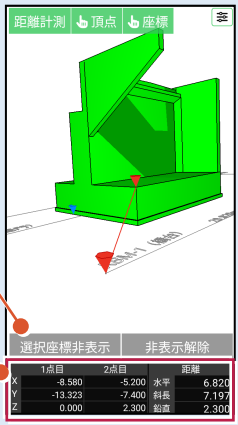
［頂点］ボタンがオンの時は頂点がタップできます。
［座標］ボタンがオンの時は座標がタップできます。



タップした2点が赤色で表示され、距離が確認できます。

［選択座標非表示］で表示が不要な座標を非表示にしておくこともできます。

1点目、2点目の座標値と、水平距離、斜長、鉛直距離が確認できます。



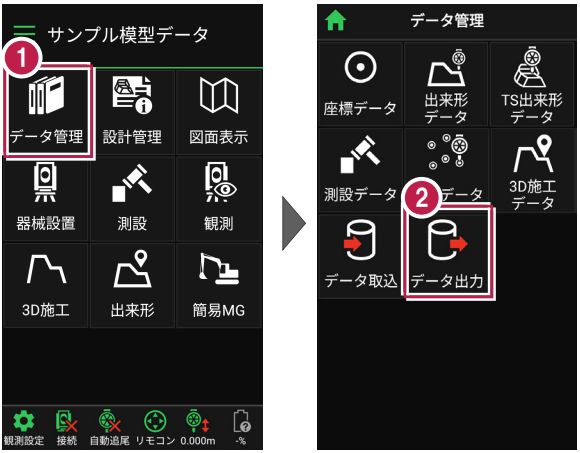
左上の［条件］でTINを切り替えます。



8-2 座標データ（SIMA）を出力する

現場データ内の座標データを、SIMA形式で出力します。

1. ホーム画面の［データ管理］をタップします。
2. ［データ出力］をタップします。



3. ［座標（SIMA）］を選択して［次へ］をタップします。
4. 現場データ内の座標データをすべて出力する場合は［全て］を選択して［次へ］をタップします。



座標データを CSV 形式で出力する場合は

データ出力で［座標（CSV）］または［座標（CSV：末尾コンマ付）］を選択して［次へ］をタップします。出力されるのは、以下の項目です。

・座標（CSV）・・・点名,X座標,Y座標,Z座標,属性,計測日時,目標点名,目標X座標,目標Y座標,目標Z座標,差（水平距離）,差（鉛直距離）,差（斜距離）

・座標（CSV：末尾コンマ付）・・・点名,X座標,Y座標,Z座標,

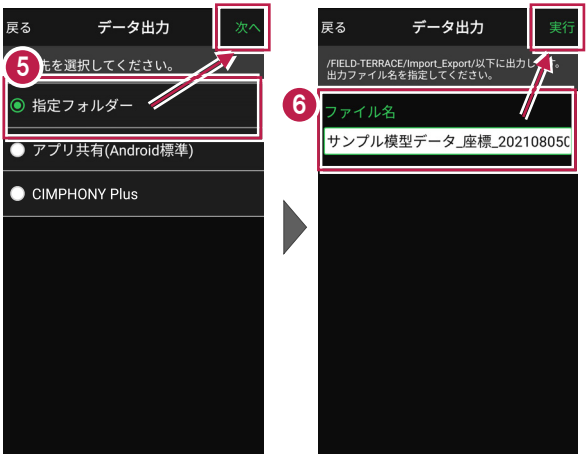
※座標値の丸めは［現場共通設定］-［桁設定］の「X/Y座標」「Z座標」の丸めを使用します。（［座標（SIMA）も同様。）

※差は単位mmで出力します。

5 端末内のフォルダーに出力する場合は、［指定フォルダー］を選択して［次へ］をタップします。

6 ファイル名を指定して［実行］をタップします。

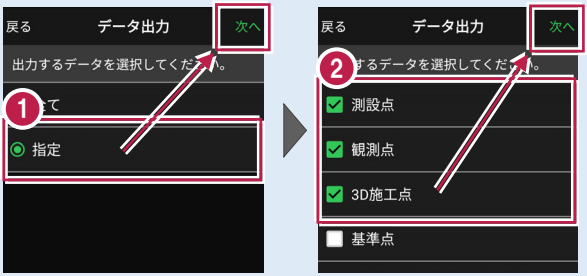
Import_Exportフォルダーに座標データが出力されます。



座標データを選択して出力する場合は

［指定］を選択して［次へ］をタップします。

出力する座標データの属性のチェックをオンにして［次へ］をタップします。

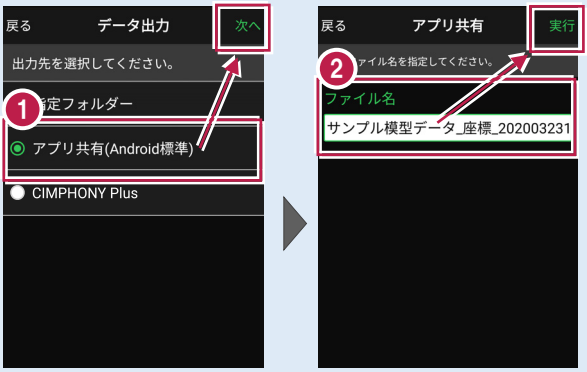


アプリ共有（クラウドストレージやメールなど）に出力する場合は

［アプリ共有］を選択して［次へ］をタップします。

ファイル名を指定して［実行］をタップします。

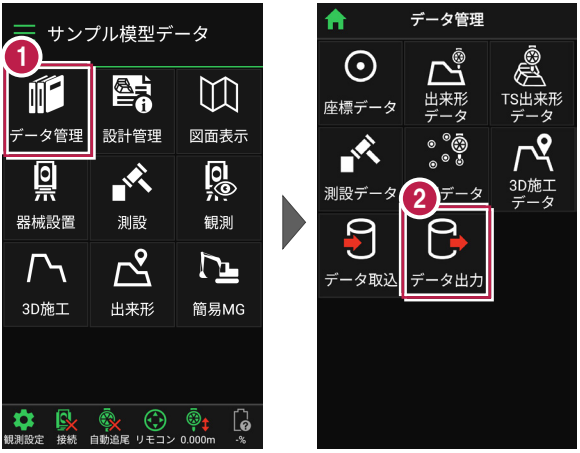
出力先（共有先）のアプリを指定すると座標データが出力されます。



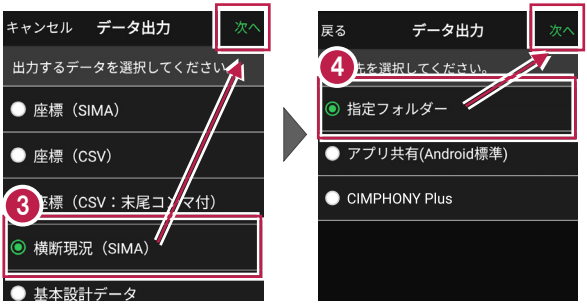
8-3 横断現況データ（SIMA）を出力する

現場データ内の横断データを、横断SIMA形式で出力します。
出力されるのは、［観測］－［横断放射］で観測した横断データです。

1. ホーム画面の［データ管理］をタップします。
2. ［データ出力］をタップします。



3. ［横断現況（SIMA）］を選択して［次へ］をタップします。
4. 端末内のフォルダーに出力する場合は、［指定フォルダー］を選択して［次へ］をタップします。



5. ファイル名を指定して［実行］をタップします。

Import_Exportフォルダーに横断現況データが出力されます。



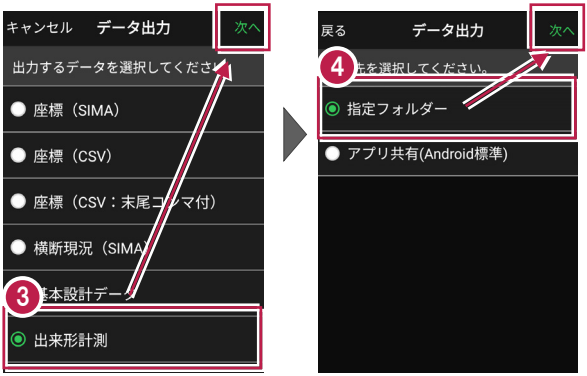
8-4 出来形計測データ（XML）を出力する

現場データ内の出来形計測データを、XML形式で出力します。
出力されるのは、［出来形］－［出来形計測］で観測した出来形計測データです。

1. ホーム画面の［データ管理］をタップします。
2. ［データ出力］をタップします。



3. ［出来形計測］を選択して［次へ］をタップします。
4. 端末内のフォルダーに出力する場合は、［指定フォルダー］を選択して［次へ］をタップします。



5. ファイル名を指定して［実行］をタップします。

Import_Exportフォルダーに出来形計測データが出力されます。



8-5 簡易TINデータ（LandXML）を出力する

現場データ内の簡易TINデータを、LandXML形式で出力します。
出力されるのは、［設計管理］－［TINデータ］で作成した簡易TINデータです。

1. ホーム画面の［データ管理］をタップします。
2. ［データ出力］をタップします。

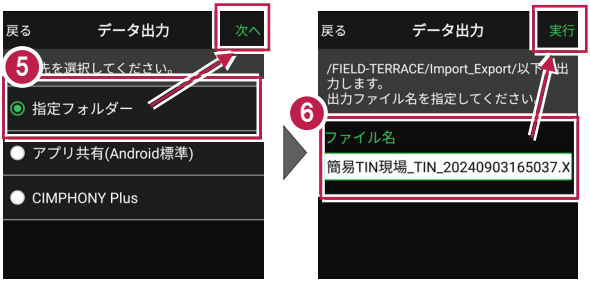


3. ［簡易TIN（LandXML）］を選択して［次へ］をタップします。
4. 出力する簡易TINを選択して［次へ］をタップします。



5. 端末内のフォルダーに出力する場合は、［指定フォルダー］を選択して［次へ］をタップします。
6. ファイル名を指定して［実行］をタップします。

   Import_Exportフォルダーに簡易TINデータが出力されます。



8-6 現場データ（FTZ、FTZS）を出力する

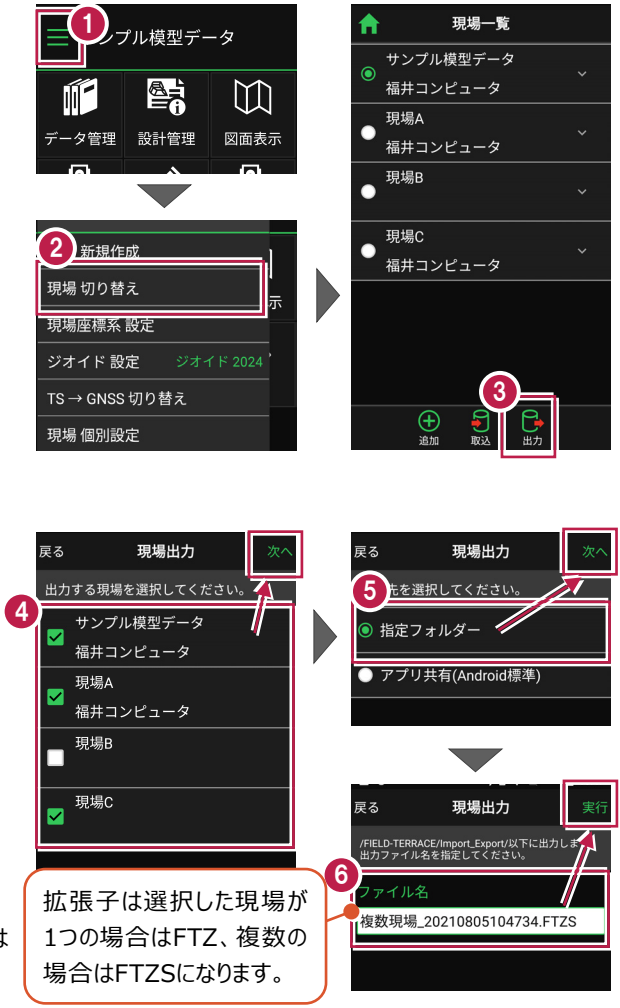
FIELD-TERRACEオリジナルの現場データ（FTZ、FTZSファイル）を出力します。

FTZ、FTZS ファイルを他プログラムで読み込むことはできません

FTZ、FTZSファイルは、他のスマートフォンのFIELD-TERRACEとの現場データの受け渡しなどに使用します。EX-TREND武蔵など他プログラムで読み込むことはできません。

1. ホーム画面の［メニュー］をタップします。
2. ［現場　切り替え］をタップします。
3. ［出力］をタップします。
4. 出力する現場を選択して［次へ］をタップします。
5. 端末内のフォルダーに出力する場合は、［指定フォルダー］を選択して［次へ］をタップします。
6. ファイル名を指定して［実行］をタップします。

   Import_Exportフォルダーに現場データ（FTZまたはFTZS）が出力されます。



拡張子は選択した現場が1つの場合はFTZ、複数の場合はFTZSになります。